

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和2年度】

主管課名(担当名)	介護福祉課(高齢者包括支援担当)				
事務事業名	老人福祉センター整備事業	事業番号	11080		
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-5 高齢者福祉の充実
	施策目標	高齢者が生きがいをもって活躍するまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	高齢者の増加や平均寿命の延伸に伴い、被保険者の増加が予想されている。
	対象者の今後の予想	増加していく。
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	老人福祉センターの備品等で老朽化したものについて整備や入れ替え等を行う。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	パイプ椅子・長テーブル等備品の整備を行うことにより、施設利用者の利便性の向上や健康増進が期待できる。また、老人福祉センター煙突の改修により、適正な煙路を確保し快適に施設を利用できる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H30)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
		H28	H29	H30	R1	R2		
1 一日当たりの延べ施設利用者数	86人	—	—	72人	76人	73人	90人	95人
2 利用者アンケートで施設内の設備について「使いやすい」と感じる割合	83%	—	—	75%	76%	16%	85%	90%
3								
4								
事業費(=下記内訳計)				R2予算		R2決算		R3予算
				5,390		5,060		1,820
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他			5,300		4,970		1,820
	一般財源			90		90		
人員(人工)				0.08		0.08		0.08
職員人件費(=人員(人工)×7,673千円)				614		614		49
総事業費(=事業費+職員人件費)				6,004		5,674		1,869
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				82		77		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				375		354		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	年度午後の老朽化が進んだ備品について確認を行い、必要に応じて見直し等について検討を行う。
今後の動向・市民ニーズなど	

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	新たな備品への更新により利用者の利便性は向上している。 老人福祉センター煙突の改修により、適正な煙路を確保し快適に施設を利用できる。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 市が所管する施設の整備であり、市が実施すべきである。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 年度ごと、老朽化が進んだ備品等を確認し、整備する必要がある。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 現時点においてははない。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 目的が同一となる事業がないため統合は不可能。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 受益者に負担を求めるものではない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和3年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和2年度】

主管課名(担当名)	介護福祉課(高齢者包括支援担当)		
事務事業名	高齢者バス優待乗車券等交付事業	事業番号	12595
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-5 高齢者福祉の充実
	施策目標	高齢者が生きがいをもって活躍するまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	70歳以上の高齢者
	対象者の今後の予想	高齢者人口の増加により、利用者の増加が見込まれる。
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	高齢者が増加する中、趣味・学習・仕事を通じて閉じこもりがちな高齢者が気軽に社会参加できる環境整備や世代間交流を推進する。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	元気な高齢者が積極的に社会参加することにより、孤立や孤独を防ぎ、地域との繋がりの中で生きがいをもって生活できる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)
		H28	H29	H30	R1	R2		
1 高齢者バス優待乗車券利用率	—	36.6%	32.0%	34.1%	34.8%	34.6%	45.0%	50.0%
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		R2予算		R2決算		R3予算		
		17,344		16,892		17,344		
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他	17,344		16,892		17,344		
	一般財源							
人員(人工)		0.08		0.08		0.08		
職員人件費(=人員(人工)×7,673千円)		614		614		614		
総事業費(=事業費+職員人件費)		17,958		17,506		17,958		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		51,902		50,595				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	令和3年度以降、ふるさと応援基金により、1乗車につき100円の利用者負担を維持する。
今後の動向・市民ニーズなど	高齢化が進み、免許を返納するなどバスやJR利用の増加が見込まれるが、便数の減少や路線の廃止が懸念される。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	路線バスやJRは高齢者の移動手段として欠かせないものである。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 一部可能 <input type="checkbox"/> 不可能 車両による移送業務のため、路線バスやJR以外の移送手段により民間事業者等でも実施が可能である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 現状において特にない。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない バス会社との包括的契約とJRの規定料金に応じて負担している。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 今後においても、路線バスやJRが高齢者の移動手段として利用できるよう、本事業を継続していく。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 路線バスの利用時、一回の乗車につき100円を負担いただいている。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和3年6月